

平成 3 0 年

オリンピック・パラリンピック  
推進特別委員会会議録

と き 平成 3 0 年 4 月 1 8 日

品 川 区 議 会

平成30年 オリンピック・パラリンピック推進特別委員会

日 時 平成30年4月18日（水） 午後1時00分～午後2時45分  
場 所 品川区議会 議会棟6階 第1委員会室

出席委員	委員長 木村 けんご 君	副委員長 鈴木 真澄 君
	委員 伊藤 昌宏 君	委員 本多 健信 君
	委員 石田 秀男 君	委員 たけうち 忍 君
	委員 つる 伸一郎 君	委員 新妻 さえ子 君
	委員 中塚 亮 君	委員 のだて 稔史 君
	委員 いながわ 貴之 君	委員 藤原 正則 君
	委員 吉田 ゆみこ 君	

出席説明員	中山 企画部長	柏原参事（企画調整課長事務取扱）
	安藤文化スポーツ振興部長	立川文化観光課長
	池田スポーツ推進課長	辻オリンピック・パラリンピック準備課長
	熊谷指導課長	溝口公園課長

○午後1時00分開会

○木村委員長

ただいまから、オリンピック・パラリンピック推進特別委員会を開会いたします。

本日は、お手元に配付の審査・調査予定表のとおり、幹部職員の異動について、特定事件調査、要望書（案）について、視察およびその他を予定しております。

本日も効率的な委員会運営にご協力をお願いいたします。

---

1 幹部職員の異動について

○木村委員長

まず、予定表1の幹部職員の異動についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○中山企画部長

企画部の出席者に変更はございませんけれども、私、引き続き企画部長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○安藤文化スポーツ振興部長

では、文化スポーツ振興部の幹部職員の異動のご報告をさせていただきます。

まず、中山文子参事が、品川区スポーツ協会に派遣をしております。

そして次に、文化スポーツ振興部文化観光課長に立川正がまいりました。

○立川文化観光課長

立川でございます。よろしくお願いいたします。

○安藤文化スポーツ振興部長

そして、文化スポーツ振興部オリンピック・パラリンピック準備課長に辻亜紀がまいりました。

○辻オリンピック・パラリンピック準備長

辻でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○安藤文化スポーツ振興部長

そしてもう1人、文化スポーツ振興部の副参事として、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に派遣をしています中島秀介がいます。

そして、引き続き私が文化スポーツ振興部長です。よろしくどうぞお願いします。

○木村委員長

これからもよろしくお願いいたします。

以上で本件を終了いたします。

---

2 特定事件調査

- (1) オリンピック・パラリンピックの推進に関する事
- (2) 障害者スポーツの推進に関する事
- (3) 文化プログラムの推進に関する事
- (4) オリンピック・パラリンピック教育に関する事

：特定事件調査のまとめについて

○木村委員長

次に、予定表2の特定事件調査を議題に供します。

本日は、今期の当委員会において議論してまいりました特定事件調査のまとめについて、取り上げます。

前回の委員会において、これまでの主な意見をまとめたものをお示しし、各会派で追加のご意見がある場合は、期日までに提出いただくようお願いしたところです。

これまでの議論やご意見等を踏まえまして、正副で調整を行い、作成した案文をお手元に配付しております。

本日は、この案文をもとにまとめを行っていきたいと考えております。

それでは、内容確認のため、書記に朗読させます。

〔書記朗読〕

#### ○木村委員長

朗読が終わりました。

まとめましたこの内容につきまして、皆様からご意見やご指摘などがございましたら、随時ご発言願います。

#### ○いながわ委員

ありがとうございます。1点、私の認識が違うのか、裏面の「2 障害者スポーツの推進に関すること」で、「障害者スポーツの理解促進に向けて、本区に関係するパラリンピック選手への応援、支援に積極的に取り組むこと」と書かれていて、これは当然そうしていただくのは本当にありがたいことであると思うのですが、同時に、ここはあくまでも障害者スポーツの推進なのですけれども、オリンピック選手に関しては、関係する選手に関しては、支援とか応援とかというのは触れていないような気がします。どこかに書いてあったら別なのですけれども、今朗読を聞いている限り、なかったような気がするのですが、これはこれで、いらっしゃれば応援をするという大前提の中で、要するに障害者スポーツの理解ということでパラリンピックとあえて載せているのか、その辺を確認したいなと思います。

#### ○鈴木（真）副委員長

これをまとめさせていただく中で、今までの委員会の中で出てきた意見をもとにまとめたもので、委員会においてその文言が直接出ていなかった。もちろん今いながわ委員が言ったのは十分わかる意見なのですけれども、言葉として出ていなかったということで、入れませんでした。当然、1番の中に含む部分かなとは思いますが、ここでご意見あったということで、調整するのは可能だと思います。

#### ○伊藤委員

内容的なことではないのですけれども、このまとめについてですが、これからどういうふうを活用するのですか。例えばこれを議長名にして濱野健区長に出すのでしょうか。その確認をお願いいたします。

#### ○鈴木（真）副委員長

議長宛てにお出しして、議長から区長に提出する形になると思います。

今まで特別委員会において、ここ6年ぐらいの流れで議長から出しています。

#### ○木村委員長

ほかに何かございますか。

#### ○たけうち委員

本当に内容ではないのですが、句読点というのですか、「。」がないところとがあるので、確認をお

願いたします。

**○木村委員長**

ほかに何かございますか。

**○鈴木（真）副委員長**

この後、直しまして、今のお話にありました句読点の部分と、それからオリンピックの選手に対しての応援、支援ということをつけ加えた形でまとめさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○鈴木（真）副委員長**

ありがとうございます。

また、各委員にご理解をいただきたいのですけれども、次の議題に出てくる中で、オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会へ要望書をこの委員会として出しますので、これも追加しなければいけないのかなと思うのですが、それは追加するという事でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○木村委員長**

よろしいでしょうか。ありがとうございました。さよう決定いたします。

それでは、まとめが作成でき次第、各委員にお渡しし、その後、議長へ報告させていただきます。

以上で、特定事件調査を終了いたします。

---

**3 要望書（案）について**

**○木村委員長**

次に、予定表3の要望書（案）についてを議題に供します。

事前にお手元に配付しておりますが、期日までに頂戴したご意見を踏まえ、正副で東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会宛での要望書（案）を作成いたしました。本日は、当要望書につきまして、文言や表現の修正のほか、要望項目の新規提案等があれば、この場でご意見を伺いたいと考えております。

なお、案文のタイトルに「ビーチバレー」と記載してございますが、正式にはビーチバレーボールですので、提出するまでに修正させていただきます。

それでは、要望項目全般につきまして、新規のご提案等がございましたら願いたします。何かございますか。

**○たけうち委員**

これも内容ではないのですけれども、1番の表題のところ「安全対策の実施等を求める」とあるのですが、私もどっちかなと迷い、「安全対策等の実施をを求める」と考えるのですが、内容が、安全対策もさることながら、それ以外の内容も結構あって、それで、どっちが正しいのかわからないのですけれども、意味はわかるのですが、どっちがいいかなとちょっと悩ましいところだったので、私もわからないのですけれども、そこだけ確認をお願いします。

**○鈴木（真）副委員長**

わかりました。正副でもう1度、出す前に調整します。

**○石田（秀）委員**

私も内容というよりは、これ、次期の委員長になるのかもちょっとわかりませんが、多分、これが、

最後の要望活動になってしまうかもしれません。あとはどんどん決まっていってしまう部分があると思うので、ぜひ今期も東京都オリンピック・パラリンピック準備局なりと意見交換をさせていただいた地域の自治体として、これをせっかく出すので、この委員会が、また来期も継続されるということを考えれば、どこかの段階でこれを出させていただくことを踏まえて意見交換ができる場を、今のうちから調整しておいていただくことは、ぜひお願いしたい。

#### ○鈴木（真）副委員長

わかりました。これは大会組織委員会とどういう交渉ができるかわからないのですが、これは次期への申し送りの形に対応させていただければと思います。

#### ○木村委員長

ほかによろしいでしょうか。

ご意見ありがとうございました。

次に、要望書の提出スケジュールでございますが、正副で協議した結果、今後の議会日程から考えると、なるべく早期の提出が望ましいとの結論に至りました。

そこで、本日、修正等のご意見・ご提案がない部分につきましては、この内容で確定させていただきまして、また、先ほど頂戴した新規の要望項目等の文言の加筆または修正および内容に影響しない軽微な修正についても、正副一任とさせていただきませんか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

#### ○木村委員長

ありがとうございます。

それでは、頂戴したご意見等につきまして、正副で調整させていただきます。修正後の案文につきましては、作成でき次第、各委員にお渡しいたします。

なお、今後でございますが、私のほうで4月20日に予定されております議会運営委員会に出席し、内容を説明してまいります。議運での了承を得まして、要望書提出という運びとなりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

以上で、要望書（案）についてを終了いたします。

---

#### 4 報告事項

「品川区オリンピック・パラリンピック学習教材ようい、ドン！しながわ（1～4年）」の作成および配布について

#### ○木村委員長

次に予定表4の報告事項を聴取いたします。

「品川区オリンピック・パラリンピック学習教材ようい、ドン！しながわ（1～4年）」の作成および配布についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

#### ○熊谷指導課長

それでは、「品川区オリンピック・パラリンピック学習教材ようい、ドン！しながわ（1～4年）」の作成および配布についてをご説明いたします。

昨年、こちらの「ようい、ドン！しながわ」5年生から9年生用を作成・配布したところでございますけれども、今年度、「ようい、ドン！しながわ」1年生から4年生用ということで、お手元にある教

材を作成したところでございます。

5年生から9年生用と作成の趣旨は一緒なのですが、大きく異なるところは、1年生から4年生用ということで、まだ小さいお子さんですので、まず自分の考えや学習の感想などを直接この教材に書き込めるようにいたしました。そこが5年生から9年生用と大きく異なっているところでございます。ですので、紙質も鉛筆で書いたときにしっかり書けるような紙質にしているところが大きな違いだと思います。また、子どもたちが興味を持って学習できるように、写真ですとか、それからインタビュー記事なども多く掲載しています。

活用につきましては、各教科や市民科の学習内容と関連づけ学習するのですが、特に市民科や生活科、社会科の学習等で活用していくことになるかと思えます。また、5年生から9年生以上では、家族と話し合ったりお友達と考えを交流するなどして、一緒になって考える、そういったところから家庭や地域への波及効果を高めていきたいと思っています。

配布につきましては、本日のこの特別委員会が終了後、各学校で子どもたちに配布をし、そして授業で学習を行っていくこととなりますけれども、冊子を1枚おめくりいただきまして、表紙をめくりますと、見開きになっています。東京2020大会に向けて、よい、ドン！ということで、オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境の、4つのテーマ、これがオリンピック・パラリンピック学習の大きな柱となっているわけでございますけれども、これに沿った学習内容をとっています。

A3横判の資料にも目次を示しましたが、今申し上げた4つのテーマが教材の中に満遍なく入るような形で教材作成しておりますし、9番、10番については、「楽しみだね 東京2020大会」、始まる前のわくわく感を子どもたちに感じさせていくページと、そして終わってからも、レガシーとして「東京2020大会の思い出」ということで、この教材自体が子どもたちにとって、10年、20年、30年先によい思い出のものとなるようにつくったところでございます。

インタビュー記事につきましては、下にありますように、小谷実可子さん、パラリンピアンの木村潤平さん、そしてオリンピックを目指している田中秋桜さん、黒川魁さん、こちらについては本区の開催競技でございますホッケー、ビーチバレーボールの選手であります。そして一番下は、ブラインドサッカーのパラリンピックを目指している齊藤舞香さん。こうした方のインタビュー記事を載せています。そのほか、学校関係者、地域の方、区役所の職員等にも取材しています。また、JET青年、Japan Exchange and Teaching Programmeで日本に来ている都立大森高校のアメリカ人の方にインタビューをとっているところでございます。

特徴につきましては、5年生から9年生は見開きでつくっていましたが、今回は各項目4ページで構成してございまして、「気付く」、「知る」、「深める」、「まとめる」・「広げる」の順に学ぶことで、オリンピック・パラリンピックについて興味や理解を深めることができるようにしています。

実際にご覧いただこうと思うのですが、こちらのA3資料にも載せてあるところと同じところではありますが、9ページをご覧ください。「気付く」ということで、「品川区と関れんするきょうぎにはどんなものがあるかな」ということで、大きく写真を載せています。荏原第六中学校で練習をする日本代表強化選手、これは5人制サッカー、いわゆるブラインドサッカーの練習風景でありますけれども、この写真を見て、まずはどんな競技、何の競技かな、どんな特徴があるか見つけてみようということで、写真から考える。そして1ページめくっていただきまして、「知る」ということで、似ているスポーツであるのだけれども、同じところと違うところを考えて、友達同士で話し合う。そして、品川区で開催される競技、また、応援競技はどれなのかということについて、しっかり学ぶというページにしていま

す。

また、11ページですけれども、実際に選手、先ほど申し上げた田中選手、黒川選手のインタビュー記事を読んで、深めていくというページになっています。そして、全校に設けてありますオリパラコーナーに3つの競技のボールを置いていますので、実際にさわってみる、振ってみる、そういったことからどんなことがわかるか、体験させています。

そして、12ページには「まとめる」ということで、学習したことをまとめるページ、そしてさらに、家の方と取り組もうということ、家庭への普及、地域への波及効果を高めるために、実際に家の方と一緒に見にいたり、体験したり、調べたりというページをつくっているところでございます。

特に低学年用ということで工夫したのは、シールが入っているかと思うのですが、本区の応援競技の3匹のマスコットである、シナカモン、ピーチュウ、やたたまのシールをつけています。子どもたちが勉強したときに、シールを張って、これを学んだよということが残るようにしているところですが、それぞれの項目に2つずつ張れるようになっていきます。というのは、学年をまたいで学習することもあると思いますので、少なくとも2回は勉強できるかなということで、シールの数もそれに合わせてつくっているところでございます。

教材については以上でございますけれども、5年から9年用を作成した後、1年たちましたが、やはりこうした区独自の教材をつくっているところは品川区のみということで、こちらの1年から4年生、5年生から9年生が、全児童生徒に配り学習を進めていくところでございます。

なお、東京都のオリンピック・パラリンピック教育の平成30年度の表彰校が決まりましたので、あわせてお知らせしたいと思います。

昨年度、平成29年度は、アワード校が5校、そして応援校が1校でございましたけれども、今年は10校になりました。城南幼稚園、八潮わかば幼稚園、城南小学校、京陽小学校、延山小学校、中延小学校、鈴ヶ森中学校、豊葉の杜学園、第二延山小学校、荏原第六中学校で、荏原第六中学校は、昨年度同様、パラリンピック応援校ということで、5人制サッカー、ブラインドサッカーの応援校となっています。

ちなみに、62区市町村で最も多く指定されております。昨年度も一番多かったのですが、今年度も10校ということで、平均二、三校となっておりますので、品川区が最も多く顕彰されているということをお伝えしたいと思います。

## ○木村委員長

説明が終わりました。本件に関しまして、ご質疑等がございましたらご発言を願います。

## ○いながわ委員

作成の趣旨が、このA4の紙に横書きで書いてあるのですが、「品川区の全ての児童が東京2020大会に興味をもち」というようなことが書かれているのですが、これは以前作成した5年生から9年生の「ようい、ドン！しながわ」と同じ趣旨なのですか。と言うのは、何でそのときに1年生から4年生も作らなかったのか、ここに来て作成した理由が「また」から下ということなのか、その辺を教えていただきたい。そして、これは4年間この1冊で学んで、裏にも組数が、1年生から組が書けるように言っているのですが、これはどこからどこが1年生がやることなのか。それから、例えば写真が中にいろいろあって、中にはいろいろとキャプションがついている部分もあるのですが、時々ついていない、自分でここはどういう意味か調べるといふところもあるのかもしれないのですが、ついていないということに何か意味があるのか、どういう理由でキャプションを入れていないのか。例えば17

ページ、「いろいろな人に挨拶をしよう」という所に、写真があるのですけれども、全然キャプションがついていない。25ページもそうですよね、どこの商店街だか、品川宿と見ればわかるのですけれども、あったほうがいいのではないかなとか、26ページは、これはクイズなので、答えなければいけないのだから、別にキャプションがなくてもいいと思うのですけれども、一方では、茶道を楽しむ荏原平塚学園の児童とか、統一性が全くないのですが、その辺、どう考えてつくられているのかということと、あと、全てに該当するのですけれども、例えば25ページの「思いやりとおもてなしのあるまちづくり」で、下に関連で、学習読本では52ページですよ、「わたしたちのしながわ」では70～74ページですよと書いてあるのですけれども、オリンピック・パラリンピック2020の16ページ、これはどこにあるものなのですかということをお教えください。

### ○熊谷指導課長

まず、「よいい、ドン！しながわ」の趣旨のところなのですから、昨年度、5年から9年用をつくったときに、最初は昨年度1回限りで作成していくということになっていたのですが、やはり発達段階があるので、1冊ということは難しいのではないかとということで、本区では4・3・2という分け方、また、4・5という分け方を学年別にしていきますので、昨年度作成するに当たって、一遍につくってページ数を減らしてしまうよりは、やはり5年～9年をまずづくり、そしてそれに伴って、翌年、今年度になりますけれども、1～4年用をつくらうということで検討を進めてきたところです。

2つ目なのですから、キャプションのところなのですが、キャプションはあえて入れたところと入れていないところがあります。例えば5ページのところは、さまざま、特にリオ大会、ロンドン大会の写真を使っているのですけれども、これはどこの大会なのかということについて、そして何の競技なのかということがわかるように意図的に入れているのですが、先ほどご指摘があった17ページのところにあえて入れなかったのは、これは京陽小学校の校長先生にご挨拶していただいたものなのですから、あと下にJ E T青年がいますが、清水台小学校との連携でいらしてくださいました方です。また、地域の方。これは、学校名を入れてしまうことによって、反対に、小さいお子さんですので、うちとは関係ないのかなと思われたくない、どこの学校でも同じように挨拶をしようというところは共通だと思っていますので、そこところはあえて入れなかったという意図があります。

同じように、26ページ、品川宿なのですから、品川宿の子どもたちは、うちだとわかるのですが、うちのまちではないなということではなくて、どこのまちであっても、どこの商店街であっても、同じような思いやりとおもてなしのあるまちづくりをしていると思いますので、意図的にこれは入れなかったところがあります。

ただ、教員用には別途指導書的な、指導のガイドみたいなものをつくっていきたいと思いますので、それを入れていきたくと思っています。

また、茶道のところに学校名が入っているのだけれどもということだったのですが、それは子どもたちが出ているので、あえてこれは子どもたちを中心にしたものなので、どこの学校なのかということを入れるようにしたという経緯がございます。

それから、関連というところなのですから、これは何かというご質問だと思うのですが、もともと東京都が平成27年度にオリンピック・パラリンピック学習読本、これを3年生以上につくっています。1～2年生用も同じときに「オリンピック・パラリンピック2020」というのをつくっています。これは、東京都、そして日本国中の内容について書いてあるものです。ですので、まずはこちらのほうで広い範囲について学び、そしてここからさらに品川区ではどうだったのだろう。例えば1964のと

きの聖火リレーは、沖縄から入ってきているのですけれども、品川にはどう入ってきたのかというよう  
なところで、品川に絞って入れています。ですので、これが5～9年用でも示したところなのですけれ  
ども、まず、例えばクーベルタンのことですか嘉納治五郎のことなどは都の教材を使っていく。そし  
て、品川区に絞ったものは「ようい、ドン！しながわ」でというふうに考えて、示したところです。

それから、市民科ですとか生活科、社会科等で行っていくわけなのですけれども、目次のところには  
特には示さなかったのですが、基本的には1から10まで、市民科の資質と能力に関連しているところ  
となっています。また、例えば6の思いやりとおもてなしのまちづくりのところは社会科で学ぶ部分で  
ありますし、また、1の誰とでも仲よくは生活科、市民科で習うところでもあります。

実際には、国の学習指導要領と鑑みながら、特に市民科については本区の教育要領を踏まえた上で、  
この内容設定をしているところでございます。

#### ○いながわ委員

ありがとうございます。4年間でこれを1冊、いろいろ関連しながらやっていくということなのです  
けれども、要するに、例えば1年生がいます、そうしたら1年生は1冊とりあえず、ぱらぱらと担任の  
先生が全部を教える感じなのかというのを聞きたかったのです。

2年生になったら、またこれ全部をやって、さらに奥深くやっていくのかどうなのか。それは教員に  
よって多分、三十何校あると思うのですけれども、教え方に統一性がなくなってくるのではないかなと  
いう部分があるのでお伺いしたのです。

あと、関連の資料に関しては、これ、要は子どもに向けて言っているわけではないということないの  
でしょうか。

#### ○熊谷指導課長

失礼しました。この教材なのですけれども、都でつくった教材も同様なのですが、どこからスタート  
してもいい、そして全ての学年で、結局1年生でやってもいいですし、3年生でやってもいいですとい  
うようなところなのですが、それはぱらぱらになるのではないかというご心配があるかと思うのですけ  
れども、各学校でオリンピック・パラリンピック教育について年間指導計画を作成しております。5月  
までにそれを必ずつくるように、ほかの教科についても同様なのですけれども、しています。ですので、  
私どもでそれを受理することになっていますので、この学校ではこのときにこの教材を使って、そして  
どの教科でということがわかるようになっていきますので、ある学校では1年生で学ぶこともあるでしょ  
うし、ある学校では2年生でという場合もあります。ただし、どの学年でも35時間程度はやりましょ  
うということで、これは東京都全部で共通しておりますので、そういった形となっているところでござ  
います。

関連のところなのですけれども、5年生から9年生用は、子どもたちがそれを見て、ここと関連して  
いるのだなということがわかるのですが、1年生から4年生用については、子どもたちが、特に1、2  
年生はわかりませんので、教員がここと関連づけて学習させるのだなということがわかるようにしたと  
ころでございます。

#### ○木村委員長

ほかに何かご意見ございますか。

ご発言がないようですので、以上で本件および報告事項を終了いたします。

## ○木村委員長

次に、順番を変更して、予定表6のその他を議題に供します。

その他で何かございますでしょうか。

## ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

それでは、私から4点情報提供をさせていただきます。

まず1点目ですが、資料をお配りしております。新田佳浩選手の区長表敬訪問についてのご案内でございます。平昌パラリンピック大会でクロスカントリースキーの10キロクラシカル立位で金メダル、そしてクロスカントリースキーの1.5キロのスプリントクラシカル立位で銀メダルをおとりになった新田佳浩選手ですが、日立ソリューションズのスキー部に所属しております。日立ソリューションズは、しながわCSR推進協議会の会員企業でございます。

左下の写真のとおり、パラリンピック出発前に応援メッセージの国旗を日立のスキー部にお送りしました。その関係もございまして、戦績の報告と、区長にお礼にみえるということでございます。

いらっしゃる日なのですが、本日の3時半に表敬訪問にまいります。

まず1点目は以上でございます。

2点目は、特に資料はないのですが、非常勤職員の採用についてでございます。オリンピック・パラリンピック準備課で、本年4月より、オリンピックを1人、非常勤職員として採用いたしました。元ホッケー女子日本代表選手で、アテネ、北京、ロンドンオリンピック3大会連続出場しております。イベント等でホッケー体験をやっていただいたりとか、今までの競技経験を活かしながら事業のさまざまなアイデアを出していただきたいと思っているところでございます。

3点目は、本年3月に行われましたブラインドサッカーワールドグランプリなのですが、世界で初の国際大会ということでございました。品川区は特別共催という形で本大会を支援したところでございますが、その大会の協力のお礼ということで、4月27日金曜日に区長表敬訪問においでになられます。

最後、4点目でございます。こちらは資料をつけさせていただいております。既に新聞等でご覧になられたかと思いますが、大会組織委員会は4月10日に東京2020オリンピック聖火リレーコンセプトを発表いたしました。「Hope Lights Our Way／希望の道を、つなごう。」というコンセプトでございます。こちらは、柱となるのが3つの視点、「復興・不屈の精神」「違いを認めあう包容力」「祝祭による一体感」を盛り込んでいるとのことでございます。

1枚おめくりいただきまして、横になっているところですが、こちらにオリンピック聖火リレーの日数について述べております。全国を114日かけて回るということでございます。どこを回るかだとか、ランナーの公募等、細かいことにつきましてはこれから検討していくということでございます。詳しくはホームページをご覧になっていただければと思います。

## ○木村委員長

説明が終わりました。本件につきまして、何かございますでしょうか。よろしいですか。

ないようですので、以上でその他を終了いたします。

---

## 5 視察

### ○木村委員長

それでは次に、予定表5の視察を議題に供します。

まず、本日の内容についてご案内いたします。本日の調査事項は、区民のスポーツ振興に関連して、

八潮北公園スケートボード場の視察にまいります。

当施設は、八潮北公園の一部を東京2020大会の競技となったスケートボードの区民普及を目的に整備されました。本日は、その整備経緯も踏まえ、地域で多様なスポーツに参加できる機会をハード・ソフト両面からどう設けていくかを考える一助とすべく、委員会として、当施設の利用状況やスポーツを始める動機にもなる初心者向けの体験教室などの取り組みについてご説明を受けたいと考えております。

それでは、出発に先立ち、視察先の概要について、理事者よりご説明願います。

#### ○池田スポーツ推進課長

私からは、八潮北公園スケートボード場についてご説明させていただきます。

まず、経緯につきましては、今、委員長がお話しされましたように、首都高速中央環状線の品川線が工事完了いたしましたので、その間、工事のストックヤードとして使われていました八潮北公園の一部につきまして整備をしようとなったときに、ちょうど東京2020大会の新種目について決定がされました。それに基づきまして、私どものほうで八潮北公園についてどのような整備をしていくかという中で、スケートボード場およびフットサル場兼テニスコートの整備ということで、八潮北公園を整備したところでございます。

スケートボード場の規模でございますけれども、面積はおよそ700平米ということでございまして、工事費は約6,000万円ほどかけているところでございます。

供用につきましては、昨年11月20日から行いまして、ただいまご説明がありましたように、スケートボード教室を毎月第4土曜日に実施しておりまして、新たなスケートボーダーの発掘をしているところでございます。

使用料につきましては、1日単位の使用料ということでございまして、区民等につきましては、小学生以下が100円、中学生以上が200円ということになってございまして、区民等以外の方につきましては倍の200円と中学生以上が400円という形になってございます。

使用状況に際しましては、区民の方が多く利用しているところはもちろんでございますけれども、近隣の大田区、川崎というところからもご利用されている方がいるということでございます。

利用の状況でございますけれども、こちらにも書いてございますように、11月20日の供用開始から3月31日までで、登録者数は450人、うち、免除となっている者が1人ございます。利用者数につきましては、延べ1,144人ということになっているところでございます。

今回視察する、八潮北公園スケートボード場の設備は、コンクリート製できれいなものでございますので、ぜひゆっくり見ていただければと思います。

#### ○木村委員長

ご説明ありがとうございます。

それでは、これから視察にまいりたいと思いますので、委員および視察に同行される理事者は、第三庁舎2階にマイクロバスを用意しておりますので、お集まりください。直ちに放送にてご案内いたします。

会議の運営上、暫時休憩いたします。

○午後1時43分休憩

〔視察場所：八潮北公園スケートボード場（品川区八潮1-3-1）〕

○午後2時45分再開

[車中にて再開後、閉会を宣する]

○午後2時45分閉会